地域拠点センターふきのとう

「地域拠点センターふきのとう」は、宮城東部地域２市３町からの委託事業として７年目をむかえました。

① 地域生活支援拠点等事業としての緊急の相談・駆けつけ・預かり

② 基幹相談支援センターとして地域の相談支援事業所のバックアップ

③ 宮城東部地域自立支援協議会の運営事務局

④ 計画相談支援

を行っていきます。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

佐野 篤

二科 壮太

竹内 倫明

＊宮城県障害児等療育支援事業「あとれ・あとれ黒川」

県の委託を受けて携わってきた相談事業ですが「あとれ」は７年目，「あとれ黒川」は５年目となりました。東部地区２市３町と黒川圏域１市２町１村を担当圏域として，ご本人，保護者様，そしてその方に関わる支援者からの相談をお受けしています。療育手帳や受給者証がなくても利用できる相談事業です。対象は未就学から成人期の発達に関わる行動面や対人関係等で気になる部分を感じている方とその保護者や支援者です。一人で悩みを抱えずにご相談ください。〈担当スタッフ：佐々木正美（保育士），工藤理恵（作業療法士），安藤のぞ美（公認心理師），坂本武士（理学療法士），山田美咲（言語聴覚士）※育休中，岩崎亜衣（言語聴覚士）※育休中〉

＊宮城県発達障害者地域支援マネジャー

県の委託を受け事業に携わるようになって５年目です。県の発達障害者支援センターと連携しながら，「あとれ・あとれ黒川」と同じ圏域の施設・事業所の支援者支援を中心に置き，各市町村等、関係機関の依頼に応じて個別ケースの後方支援や人材研修，家族支援等に取り組んでいます。〈発達障害者地域支援マネジャー：齋藤純子，今野智恵美〉

＊法人の事業でご協力いただいている外部専門職は次の方々です。

公認心理師：富永恵子，　言語聴覚士：鈴木和子，渡部朋子，　作業療法士：髙橋麻理

編集後記

いつも温かいご支援ありがとうございます。コロナが少しずつ消息しつつある中、今年度も新しい職員を迎えて笑顔が絶えないさわおとの森を目指すと共にまたよりよい支援を心掛けて参りたいと思います。これからも皆様には変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

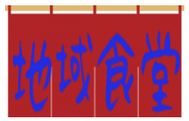
賛助会費納入及び新規会員募集のお願い

当法人では、設立当初より皆様の温かいご寄付並びに賛助会費のご協力を頂いており、厚く御礼申し上げます。この寄付金・会費にて遊具の購入や建設費に充てさせて頂いております。

今年度も皆様のご協力をお願い申し上げます。

さわおと地域食堂

令和五年三月一八日(土)のお昼の時間帯に、近隣地域の方々に向けた「さわおと地域食堂」を開催しました。多機能サポートランドさわおとの森の厨房設備や週末の空いた空間を活用し、“無料の食事提供”“関係法人様の“福祉生産物販売”通常の店舗でのヘアカットが難しい方を対象に理容業者さんを招き入れた“出張床屋さん”などを行い、生憎の天気ではありましたが大いに賑わいを見せてくれました。次回は六月を予定しており、前回は“豚汁とおにぎり”次は、カレーがいいな、とみんなで検討中です。



令和5年5月 第 33 号　認定NPO法人さわおとの森　発行責任者:代表理事 齋藤純子

広報 さわおとのもり

新年度のご挨拶

青葉薫る爽やかな風に心地よさを感じる今日この頃ですが、皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より当法人の事業に際しまして、ご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年度４月は「多機能サポートランドさわおとの森」の新天地、利府町寺下地区にて支援再開をいたしました。おかげ様で、ご利用者様の大きな混乱もなく大方、順調なスタートを切りました。近隣地域住民からの理解と、地域の交流の場としてコミュニティの一環に貢献していきたいという職員たちの熱い希望があり、令和５年３月１８日（土）に「さわおと地域食堂」なるネーミングで地域食堂を開催しました。８７名の事前申し込みがあり、当日は悪天候にもかかわらず８０名の参加者が募り盛況裡となりました。その影には、利府町子ども支援課・地域福祉課、利府町社会福祉協議会、町内会長様の後方支援があり、フードバンク団体による食材提供など多数の方々の援助を頂き開催することができました。今後も開店の企画を予定しており、これまで以上の広い地域の範囲で皆様に発信していきたいと思いますので、見守って頂ければ有難いと存じます。

さて、令和４年度は、２０２０年１月に国内初の新型コロナウイルス感染発症の報道から２年を経過した１０月に、ついに当法人にもその黒い影が忍び込んできて、各事業所内でご利用者様、ご家族様、職員など、多数発症しました。そして、法人開業以来１７年目にして臨時休業を迫られる事態となりました。

令和５年５月から、新型コロナウイルス感染症は５類に分類されましたが、今後ともより一層の配慮をして参りますので、出来る限りのご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、夏本番の熱中症対策といたしまして一言申し上げます。

夏は水分と適度な塩分の摂取が欠かせませんが、クエン酸を摂ることにより、汗で流れたミネラルの吸収をサポートするという意味で、梅干しやレモン果汁などを意識して食することが有効だそうです。

どうぞ、これからも皆様のご健康をお祈り申し上げます。

代表理事　齋藤　純子

多機能サポートランド
さわおとの森

新緑がそよ風に揺れる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。
さわおとの森は新施設での二回目の春を迎え、毎日賑やかな声に包まれております。さわおとの森には、２名の新人職員が入りました。フレッシュな人材が加わり、より一層活気のある日々を過ごしています。
昨年度の３月には、初めての試みである「さわおと地域食堂」を開催致しました。皆様のご協力とご理解を経て、実施することができました。ありがとうございました。
今後も開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください！

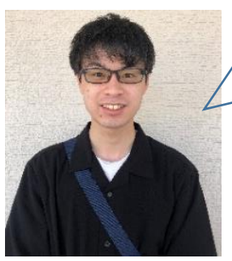
放課後等デイサービスくるみ

生活介護わのみ

短期入所・えいむ

総務部

新任職員の紹介



初めまして。増田裕希と申します。ショートステイ担当になりました。これからどうぞよろしくお願いします！

初めまして。名取茉那と申します。配属先はくるみです。これからよろしくお願いします。

利府こども発達センター

今年は、センターを開所して6年目となりました。5月8日からコロナウイルス感染症も5類へと移行されたことで、これまであった制限も少しずつ緩和されてきました。近年慎重になっていた“みんなで楽しむ”ことも以前のように出来るように、事業所として日々できる対策は変わらず行っていきたいと思います。今後も地域の方々のためのセンターにしていきますので、どうぞよろしくお願いします。

児童発達支援どんぐり

子どもたちがどんどん、ぐっと、りっぱに成長していけるよう、職員一同力を合わせて明るく楽しく元気などんぐりで活動していきたいと思います！

放課後等デイサービスあのね

新しい学年に期待と不安でいっぱいの子どもたちですが、あのねでは楽しく安心して過ごせたらいいなと思います✨

総務

利府こども発達センター総務です。
今年度も皆さまの縁の下の力持ちとして、親しまれるよう努めたいと思います。
どうぞよろしくお願いします。

共同生活援助「ぼくらの家」
短期入所「みんなの家」

『ぼくらの家』では、それぞれの生活課題をケアしながら、その人らしさが尊重される“家（ホーム）”づくりを。
『みんなの家』では、ご家族のレスパイトの他、将来自立生活を送るための体験ステイや緊急ショートとして安心して利用していただける環境づくりに努めていきたいと思います

塩竈市ひまわり園

少しずつ新型コロナウイルス感染症も落ち着き始め、従来の活動に戻りつつあります。引き続き感染症の対策として換気やおもちゃの消毒作業等を行いながら、子どもたちが笑顔で過ごせるよう支援しています。

職員紹介

園長　藤原　洋子

リーダー　佐野　ひろ子

転入

榊原　千枝

久光　志帆

髙橋　辰徳

山田　りりか

廣木　理沙

ひまわりキッズ

市内の未就学児を対象に療育支援を行っています。
室内では感覚遊びや運動遊び、音楽遊びを、戸外では併設している保育所の園庭での外遊びをはじめ、近くの公園におでかけや散歩など幅広い活動を行っています。お誕生会には、誕生児の保護者の方にも参加して頂いています。今年度はコロナウイルスで中止していた保育所とも交流会を行ないます。

ひまわりクラブ

小学生から高校生の学童児を対象に放課後等デイサービスを行っています。
公園活動や社会体験施設での活動、おやつの買い物体験、季節の制作等といった様々な活動を行っています。
特に今年は利府こども発達センターの畑を借りてさつまいもやミニトマトなどを育てる試みを行っています。

こども発達センター　あかいしの森

センター長(上)
副センター長(下)

あかいしの森は黒川圏域の児童発達支援センターとして、地域の中核的な療育支援施設として専門的な機能を有しています。経験豊富な保育士や児童指導員のほか、専門職の作業療法士、理学療法士、公認心理師が在籍し、相談機能も有しています。４月から新たな体制となりましたが、ご本人、ご家族に寄添いながら、スタッフ一丸となって引き続きサポートさせていただきます。

事務員
川崎由里

児童発達支援『むーとん』むーとんは母子通園のはなぐみ・そらぐみ、単独通園で個別、小集団のみちぐみの３クラス編成です。クラスの由来のついてのお話しを少しだけ。[はな]つぼみから花が咲き[そら]に向かって大きく羽ばたくそして[みち]お母さんと離れても、自分の力で一歩一歩前に進めるようなしっかりした道をつくる。そんな思いがあります。昨年度まで苦しめられたコロナが落ち着き始め、今年度は一年を通じて様々の行事や活動を楽しみ沢山の笑顔を引き出していきたい思っております。今年度も幅広い専門職員を交え、お一人お一人に寄り添う支援を心掛けて参ります。

はな

そら

みち

放課後等デイサービス『ぴーす』

かつて、まだまだ地域に子どもたちの活動の場が少なかった９年前、皆様のご協力のもと誕生しました。由来について、社会の一員という意味のワンピース。そして平和という意味のピース。ひらがなで書くことで温かみのあるイメージにしました。子ども達が安心して過ごせる場所としてまた楽しく過ごせる場所として、子ども達の生活の１ピースとしてぴったり寄り添っていくことが出来るように取り組んで行きたいと思います。

こども相談支援『つくしんぼ黒川』

支援が必要と認められる方々(主に児童)の自立した生活を支え、ご本人等の抱える課題の解決や適切なサービスの利用に向けて、「障害児支援利用計画」等を作成し、様々なサービスにつなげるための相談支援事業を行っています。

職員紹介

佐藤信太朗
センター長

今年度よりセンター長に就任しました佐藤です。
前センター長の意思を引継ぎながら、引き続き信頼される施設運営を心掛けていきます。
どうぞよろしくお願いいたします。

門脇玲子
副センター長

私、意外にもここ１年ブームになっていることがあります。「ウォーキング」疲れていても眠くても歩くとすっきりするんです♪
おススメです！！

佐藤祥
ぴーす主任

旅写真を撮ること、楽器、工作が好きな佐藤です。休日はツーリングに出かけキャンプ飯を作ったりします。完全に趣味が迷子状態な私です。

鈴木はるの
むーとん　(そら)

誠実に業務に向き合い、利用者様一人一人に寄り添える保育士になりたいと思っています。
よろしくお願いします。

早坂来瞳
むーとん　(はな)

あかいしの森に配属になりました早坂来瞳と申します。未熟ではありますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。